

患難が忍耐を生み出し、 忍耐が練られた品性を生み出し、 練られた品性が希望を生み出す

関田 静香
SEKITA Shizuka

京都産業大学 経済学部 准教授
専門分野：応用計量経済学

略歴

2001年長崎大学経済学部卒業。2004年大阪大学大学院経済学研究科修了（応用経済学修士）。2007年応用経済学博士学位取得。日本学術振興会特別研究員、大阪大学社会経済研究所特任研究員を経て、2011年京都産業大学経済学部着任

研究テーマ

貯蓄・借金など、家計にまつわる行動をデータを用いて分析することです。例えば、十分に貯蓄ができなかったり、借金しすぎてしまったりするのはどうしてなのかを分析し、その対策について考えたりしています。

研究の道へ進んだきっかけ

銀行員として働いていた時に、人々の貯蓄行動・資産選択行動に興味を持ち、論文を読むようになりました。そのうち、自分でも、データを用いて、分析をしてみたいと思うようになり、研究者を志すようになりました。

研究者になってよかったと思うこと

学術論文を読んだり、研究者と話したりする機会があることで、経済行動はもちろん、様々な人が持つ価値観・文化・国民性などを、詳細に、また、客観的に知る機会が多くあること

です。それが、自分の人生を見つめなおすきっかけにもなっています。

座右の銘

患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出す

～ローマ人への手紙5章3－4節～

人生の転機になった一冊／学生に薦めたい一冊

人生の目的は、金、名誉、心の平安、達成感など、人によって様々ですし、同じ人でも、周りの環境や経験などによって異なると思っています。

「人生を導く5つの目的～自分らしく生きるための40章～（著者 リック・ウォレン）」は、人々が、人生のゆるぎない目的をもって生きることを助けてくれるおすすめの本です。

未来の研究者へ一言

自分の人生にとって何が一番大切なのか、早い時期に考えておくよと思います。特に女性研究者は、子育て・家事・教育・研究という多くの役割を持ち、優先順位をつけなければいけないことが多くあります。その時、自分にとってそれぞれの役割がどのような意味を持つのか、どの程度重要なかが自分の中で明確になっていなければ、その度に悩んだり、後悔を生む決断をくだしたりしてしまいます。実際、過去の私がそうでした（今も?）。未来の研究者の皆さんが自信を持って、後悔のない人生を歩まれますよう、お祈りしています。

最近の主な論文・評釈

Sekita, Shizuka (2011) "Financial Literacy and Retirement Planning in Japan,"
Journal of Pension Economics and Finance,
vol. 10, pp. 637-656

BEST SHOT

娘が通っていた託児所の先生の手作り作品です。

